

千葉県『性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター』が設置!

レイプやDV、痴漢や盗撮といった性暴力は、パートナーや家族、上司などからの被害が多いこともあり、相談、治療、告発をためらい、泣き寝入りしている被害者が想像以上に多いのですが、社会問題との認識は低い状況が続いています。

昨今、被害者救済の声が高まる中、それぞれの支援機関での説明が求められることによる二次的被害を防ぐため、支援を可能な限り一か所で提供することを目的に「性犯罪・性暴力ワンストップ支援センター」の設置が各地で広がっています。

私は平成25年12月の代表質問で、県議会で初めてワンストップ支援センターの設置を取り上げ、その後の本会議や予算委員会などで何度も訴え続けてきました。

そしてこのたび、平成29年10月に、「ワンストップ支援センター」を中心とした支援体制が整備されました。

この支援センターでは、被害者の方の心身の負担軽減と健康回復をサポートするため、電話相談、面接相談、医療支援、カウンセリング、法律相談などの支援を行っています。そして、被害者と同様の相談員が、各関係機関への同行支援も行っています。

今後も、県民への周知や、協力医療機関を増やすなど、体制強化に努めます。

性犯罪・性暴力被害者のための

ワンストップ支援センター

被害にあったことを誰にも打ち明けられず、自分を責めたりしていませんか。あなたは悪くありません。
ひとりて悩まず、わたしたちにご相談ください。

**緊急の医療支援は
24時間 365日 受けられます。**

※受診する医療機関は、国立病院機構千葉医療センター(千葉市内)となります

NPO法人
千葉性暴力被害支援
センター ちさと

☎043-251-8500

【相談受付時間】 日祝日、年末年始を除く
月～金 9:00～21:00
土 9:00～17:00

※緊急の医療支援は、上記時間に限りず24時間365日対応可能です。

・医療機関や裁判所などへの付き添い支援を受けられます。
・県内各地の連携医療機関での支援が受けられます。

公益社団法人
千葉犯罪被害者
支援センター

☎043-222-9977

【相談受付時間】 土日祝日、年末年始を除く
月～金 10:00～16:00

※千葉県公安委員会指定「犯罪被害者等早期援助団体」です。

◎秘密は厳守します。(相談無料)
◎被害直後から、専門の支援員が被害者に寄り添い、ニーズを踏まえた総合的な支援を提供し、心身の負担軽減と健康回復をサポートします。

支援内容 電話相談、面接相談、医療支援、カウンセリング、法律相談など。
千葉犯罪被害者支援センターでは医療機関等への付き添い支援も行います。
※相談受付時間は変更となる場合がありますので、ホームページでご確認ください。

千葉県では、上記2団体のワンストップ支援センターを中心とする支援体制の構築に取り組んでいます。

千葉県

視察報告

12月25日～26日に議会運営委員会で大阪府・和歌山県の議会改革の取組みを調査してまいりました。

1日目は、大阪府議会を視察。 地方自治体を取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化、国内外での地域間競争、相次ぐ自然災害等、これまでに経験のない対応に追われ、地方議会は、より県民に開かれ、各種団体との連携を強化するなど、主体的な改革が求められています。

議会機能強化や情報公開、そして住民参加など、開かれた議会改革への取組み状況を学びました。

2日目は、和歌山県議会を視察。 選挙権年齢が18歳に引き下げられたことで、高校生との意見交換会を試行的に実施されており、この取組は千葉にとっても必要性を感じました。また、議会一般質問では、質問者ごとに一括質問、分割質問、一問一答の三択になっており、9割が一問一答方式で行われていることは興味深いです。

今回の調査を県政発展に活かして参ります。

議会運営委員会視察



横山ひであき

県政報告

2018
春号

日々の活動内容は、こちらをご覧ください。
 Official Site <http://yokoyama-site.strikingly.com/>
 Facebook <https://www.facebook.com/hide.yoko19700424>
 Twitter https://twitter.com/hide_yokohide



YOKOYAMA HIDEAKI PREFECTURAL ASSEMBLY REPORT

■ 発行者 千葉県議会議員 横山 秀明 ■ 連絡先 〒276-0045 千葉県八千代市大和田309-167



平成29年定例県議会において横山ひであきは、医療・福祉、教育、運転免許証交付手続き、県立公園の整備など、千葉県の発展や県民の利便性向上・福祉の増進に向け、提案を交えながら一般質問を行いました。

一般質問 1 小児救命救急センターの設置を!

質問

我が国は小児死亡率が高いことから、国において平成22年度より小児救命救急センターを創設し、現在11都県14カ所に設置されている。本県では同センターの指定病院がなく、重篤な小児患者は、保健医療圏ごとの救命救急センターに搬送されるが、小児科医の当直が常駐して全ての小児に対応できる施設が少ない。

小児救命救急センターの設置により、医療体制のすみ分けが進み、受け入れの向上、搬送時間の短縮、救命率の向上のほか、小児救急医の確保・養成等が期待できる。本県も小児救命救急センターを設置すべき。

答弁

全ての重篤な小児救急患者を24時間受け入れられる小児救命救急センターの設置は、本県の小児救急医療体制のさらなる充実に資する。また、救急・災害医療審議会からも同センターの設置が望ましい提言を得ていることから、整備を検討する。

要望

次期「千葉県保健医療計画」に小児救命救急センター設置事業を位置付けてもらいたい。東京女子医科大学附属病院八千代医療センターは小児救命救急センター化を目指していると聞く。本県の小児医療体制強化のためにも指定化を進めて欲しい。

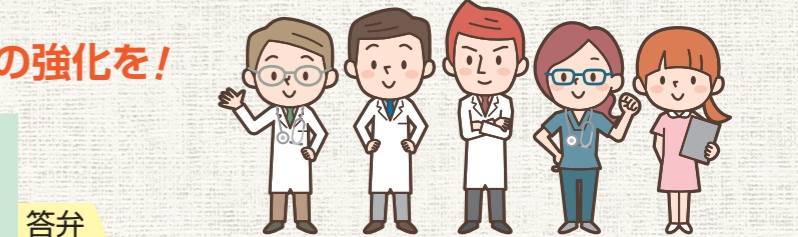
一般質問 2 がん患者の外見(アピランス)ケアの強化を!

質問

すべてのがんの5年生存率は65%を超え、社会生活をしながら治療を続ける患者は32万人以上となる一方、手術や治療による脱毛、皮膚や爪の変色など、外見の変化が生じることへの不安や苦痛を抱く方が増えており、アピランスケアが重要視されている。

平成28年4月に設置された神奈川県のアピランスサポートセンターを視察し、1年間で573件もの相談件数となっており、必要性を伺えた。

本県は、県がんセンターや県内のがん診療連携拠点病院にある、がん相談支援センターで対応しているが、案内がないなど、相談・支援を必要とする方々への周知が不十分なため、アピランスサポートセンターを設置して、アピランスケアの強化を図るべき。



答弁

治療後の社会生活に向けた患者の不安を解消することは重要だと認識している。がん相談支援センターの相談業務について、千葉県がん情報「ちばがんび」等を活用し、一層の周知を図ると共に、がん治療に伴う外見の変化に係る対応等について、国の動向や他県の事例も踏まえて研究する。

要望

アピランスケアは、まさに「患者と社会をつなぐケア」であり、人間関係の中でその人らしくいられることが最大の目的となる。不安が除かれ治療に向かう方もいると聞く。アピランスサポートセンターの整備に取り組んでもらいたい。

皆様の県政に対する声をお寄せください。

千葉県議会議員 **横山ひであき**

Official Site <http://yokoyama-site.strikingly.com/>
 Facebook <https://www.facebook.com/hide.yoko19700424/>
 Twitter https://twitter.com/hide_yokohide/
 E-mail hideaki.yokoyama.1970424@gmail.com

千葉県議会公明党控室
 〒260-0855 千葉県千葉市中央区市場1-5
 TEL.043-223-2540 FAX.043-227-9162

Official Site

Facebook

Twitter

E-mail

一般質問 3 公私格差の是正で教育費負担の軽減を!

質問

本県では平成21年度から経常費補助単価の県単独上乘せを毎年増額して、私立高校の経営の健全性を高めつつ、生徒及び保護者の経済的負担の軽減を図ってきたが、現状はどうか。

答弁

平成29年度は25,000円を措置した結果、全国順位を17位まで押し上げることができた。
これにより、保護者が負担する授業料や入学金、施設整備費などの初年度納付金の本県平均額は約70万円であり、近隣の一都三県と比較すると10万円～20万円程度低い額に抑えられている。今後も私学助成のさらなる充実に努めていく。

質問

今後、授業料減免補助など直接的な保護者負担の軽減を進めるべきではないか。

答弁

直接的な負担軽減の支援については、国による統一した制度のもとで行うことが望ましいと考え、国に対し就学支援金制度などの拡充について要望している。国では高校生等への就学支援に関する協力者会議を設置し、今後のあり方について検討されているため、国の動向を注視しながら、県としての支援のあり方を検討していく。

要望

本県の授業料減免補助は、年収の約350万円未満が全額、約640万円未満が2/3の減免となっている。
約350万円～約640万円の減免条件が同じでは、家計に占める教育費の負担に差があるため、例えば、本県の平均年収の約500万円未満を新たな区切りに、授業料の県平均額までの補助とか、入学金の軽減をするなどの負担軽減策を検討してもらいたい。



一般質問 4 高等学校の通級による指導の制度化を円滑に!

質問

これまで高等学校における特別支援教育・支援は、自立活動に相当する指導ができない為、通常の授業の範囲内での配慮か、独自で設定する教科、科目で対応してきた。
新たに通級による指導が平成30年度から制度化される。県ではどう取り組んでいくのか。

答弁

県教育委員会では、高等学校を初め中学校や特別支援校、研修機関等がメンバーにワーキンググループをつくり、通級による指導のあり方を検討している。国のモデル事業での研究成果も参考にしながら、規定の作成や指導内容の検討等を進め、円滑に実施できるように努めていく。

【千葉県では、平成30年度「県立幕張総合高等学校」「県立佐原高等学校」の2校で実施】

一般質問 5 運転免許証交付の利便性向上を!

質問

本県では、免許更新の即日交付を希望する場合、千葉市と流山市の運転免許センターでの手続きとなり、警察署では対応していないため、警察署でも対応を求む声が寄せられている。

実際、関東地区では警視庁が12署/102署、神奈川県6署/54署、埼玉県38署/39署、茨城県では全28署、群馬県では9署/15署で対応が対応している。

さらに埼玉県では、違反運転及び初回更新者講習を除き、地元の警察署以外でも受付が可能のため、平成28年度の免許更新者件数約106万人中、約7割の方が警察署で交付手続きをされている。

県民の利便性向上、地域間格差の是正、優良ドライバーの優遇措置によってドライブマナーの向上や交通事故の減少に資するなど、本県でも警察署における運転免許証の即日交付を可能とすべき。



答弁

警察署における運転免許証の即日交付は、県民の利便性に資するものと認識しているが、即日交付を行うためには、人員の確保、講習室や駐車場の整備、機器等の設置などを整備する必要があり、現時点では即日交付の計画はない。

要望

即日交付を希望の場合、免許センターから遠隔地域の方は丸1日時間を取られ、交通費もかさむ。地元の警察署で希望すると、申請日と交付日の平日2日間を費やさなければならない。他県との行政サービスに格差があるため、段階的かつ計画的に推進していただきたい。

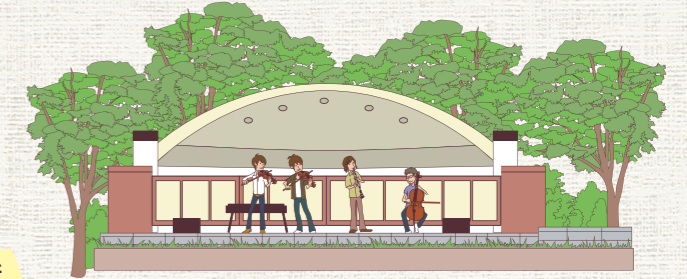
一般質問 6 民間活力の導入で県立公園の活性化を!

質問

都市公園法の改正により、都市公園の整備や管理運営に、民間事業者等の資金やノウハウが活用しやすくなった。

レストラン、フットサルコート、コンビニ、宿泊や温浴施設などの設置で、都市公園から新たな収入が見込め、県財政にプラスの効果も期待できる。

これまでは都市公園の量的整備が進められ、設置から年月が経っている施設では老朽化による更新が必要となり、また県立八千代広域公園を初め3つの都市公園が整備中である。今後、民間活力を用いた、より魅力的な公園施設の整備をどう考えるか。



答弁

今回の法改正は、民間資金を活用することで、公園整備、管理に係る財政負担が軽減されることや、カフェの設置など創意工夫も取り入れることにより、公園サービスの向上につながるものと考えている。

今後、効率的、効果的な管理運営を行うため、全国的な先行事例も参考にして、制度の活用を図りたい。

要望

ネーミングライツも含め、有効活用を図ってもらいたい。



文教常任委員会 外国人児童生徒の支援拡充を!

最新の文部科学省の調査によると、全国の公立学校に在籍する外国人の児童生徒数は、全国で8万119人(2年前比+6,830人)、そのうち4割を超える3万4,335人(同+5,137人)が日本語指導が必要な外国人児童生徒と、年々増加の一途となっています。

現在、千葉県の公立の小中学校には、日本語指導に係る教員数は50名が配置されていますが、今年度から10年間で基礎定数化されることとなります。



さて、県立高校への進学は、在日期间が3年以内の生徒の場合は、面接と作文による外国人の特別入学者選抜を志願することができ、29年度では、11校15学科で行われ、受験者71名、内定者35名でした。

1年前に私は本会議で、実施校を増やすべきと要望し、30年度では13校17学科に拡充されました。

実際、日本語の読み書きの習熟には多くの時間が必要で、受験レベルの修学は高いハードルとなっていますが、在日期间が3年以上になると一般の入学選抜試験しか受験することができない為に、希望しても進学が難しいといった声が挙がっております。

そこで、在日年数の条件を、例えば6年以内という形で緩和したり、また、一般入試においても漢字にルビをふったり、試験時間の延長などの配慮を行うよう要望しました。

